

不透明な大野市の入札

# 談合疑惑の徹底調査を

# 県勢公論

2009年(平成21年)5月28日(木曜日)発行



当誌は雑誌「更紗」「県勢公論」にて、これまで大野市の再三にわたる不透明な入札疑惑に警鐘を鳴らしてきたが、今回の下庄小学校北校舎改築工事の入札においても談合疑惑が浮上。一刻も早い捜査当局の調査と説明が求められる。

## 仕組まれたJV入札

大野市教育委員会発注の下庄小学校北校舎改築工事は、建築、電気、管工事による共同企業体(JV)を組み、指名入札に参加することになっていた。市の入札物件であり、本来なら5JV以上が必要であるにもかかわらず、3JVの参加しかなかった。市は一旦協議した結果、3JVによる入札を行うことになった。

大野地区には、影路組、横田建設も入札参加資格を持つAランク業者であるが、JVを組もうとした市内の電気工事、管工事業者に強い圧力がかったため、JVを組めなかった。今回の下庄小学校改築

五月二十六日、大野市は中野町地係「下庄小学校北校舎改築工事」を開札。5億8000万円で大野建設工業が落札した。北校舎改築RC造3階建て延べ2358㎡。西渡廊下棟改築同158㎡。南校舎(同2524㎡)改修。現校舎(北校舎、西渡廊下棟、東渡廊下棟の一部)解体同約2400㎡。仮設校舎軽量S造平屋建て499㎡。工期は、一〇年三月。

平成21・22年度建築一式工事ランク別入札参加業者		Aランク		Bランク	
1	大野建設工業(株)	1	(株)天谷製材	2	井尾建設(株)
2	(株)影路組	3	石谷工務店(株)	4	岡田木材(株)
3	三光産業(株)	5	(株)加藤製缶	6	(株)長田工務店
4	大南建設工業(株)	7	(有)中村工務店	8	(株)南部工務店
5	横田建設(株)	9	(有)羽生建築工業	10	山二工業(株)

工事は、当初から業者に圧力をかけ、Aランクの他の2社にJVを組めないうようにさせ、大野建設工業、三光産業、大南建設の3社が入札に参加し、三光産業が落札。大野建設工業に仕事を振り、大南建設には金を渡す段取りとの噂があった。影路組はJVを組んで入札に参加したかったが、JVが組めず入札参加を断念せざるを得なかった。通常であれば、最低でも5、6社の中で入札が行われるのだが、市の5億円以上のぼる工事については技術水準と正常な価格競争のもとで行われることが世間の常識である。隣接する勝山市のAランク業者である大北久保建設や福井市なども含め、幅広くJVを組み入札に参加することができなかつたのか発注者に疑問が残る。市教育委員会担当課長

若者の厳しい現実  
サラリーマンの現状  
鯖江市内に住んでいる男性は、両親に高校、大学まで進学させてもらい、現在冷凍食品会社に就職して三年目である。毎朝母親が手作りする弁当を持って出勤朝七時頃から夜九時頃まで残業する彼の年間所得は源泉徴収表と市役所の所得証明によると、所与も含めて二二八万二千四百四円。社会保健控除三〇万七千八六一円、市民税四万八千一〇〇円、県民税三万一千〇〇円を合計した三三万七千六六一円を差し引き手元に入る金額は、一八九万五千四〇三円となる。  
自動車税三万五〇〇〇円、任意自動車保険五万円、ガソリン代二万円、車検と重量税等の償却費一三万円を合計した三二万五〇〇円(a)。小遣いを月五万円として年間六〇万円(b)、食費として月三万円を家に出せば年間三六万円(c)、aからcまでの合計一八万五〇〇〇円となる。手元に入る一八九万円から一八万を差し引いて手元に残るのは六一万円。  
しかし、住んでいる家が賃貸であった場合には、月五万円の家賃に水道光熱費がかかる。これでは結婚しても夫婦共稼ぎでなければ生活できず、親の支援がなければ子ども産めないのが現状。  
年収三〇〇万円未満のサラリーマンには無税とするくらいの施策が必要だ。市民生活に直結した地域政治が求められる。

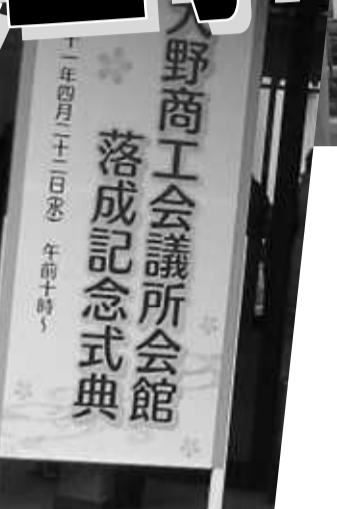


# 大野市談合疑惑 第2弾!

# 疑惑だらけの 建設費2億円!?

# 大野商工会議所会館新築工事

入札から完成までわずか半年という新築工事。大野商工会議所会館の解体・新築工事は疑惑だらけ。不透明極まりない大野商工会議所の会計監査を徹底し、黒原会頭の説明責任を求め、1000万円近い解体工事も随意契約で業者を決定。



大野商工会議所  
新会館・輝センター新築  
二〇一〇年一〇月一五日、  
新会館、輝(キラリ)センター新築工事を市内業者6者による指名競争入札を実施。大野建設工業に落札した。  
新会館は本館・S造平屋建て約480㎡。コンビニ1棟・同約240㎡。周辺景観に配慮した和風の概観とする。  
輝センターは、S造平屋建て(瓦屋根)約190㎡。新会館に併設し、イベントステージ、情報提供コーナーなどの機能を持たせる。ともに大野市中心市街地活性化の一環として、旧有終西小学校跡地に新築。建設費2億円。設計は、コノシタ・西川設計監理JV。

## 入札前に業者は決まっていた?

## わずか6カ月で完成大いなる疑問

大野商工会議所の新会館が完成、本年四月二二日落成式が行われた。旧会館所の解体工事は、大野建設工業(株)が受注し、(株)北陸総合開発(福井市灯明寺・木下幸信代表)が解体を行っている。解体工事は昨年一月中旬、大野商工会議所新築工事入札に係る建設委員会によって900万円で大野建設工業(株)に決まったと建設部会の議事録にある。

今年に入って開かれた新年会の席上で、黒原大野商工会議所会頭は「大野建設工業(株)に解体工事を800万でお願いた」と述べているが、上物の解体だけなら半値の400万で済むのではとの地元業者の声も無視できない。

新会館所建設の入札は、A級4社の大野建設工業(株)、影路組(株)、三光産業(株)、南部工務店(株)、B級2社の大南建設工業(株)、横田建設(株)が参加。九月二日に入札に関する説明会が開かれ、一〇月二日に入札、一七日開札され、受注業者が決定した。

図面を見た業者に取材すると、「設計額自体が通常よりも1000万は高いのでは」との指摘があった。四月初め、役員だけが集まった席上で、黒原会頭500万、稲山、土本両副会頭がそれぞれ250万の寄付をしたと発表したが、それを記述したものがない。



大野商工会議所新会館建4月22日オープン(上)  
大野商工会議所旧会館解体工事(下)

中国人に仕事を奪われる  
眼鏡、縫製や建設、運送の現場、コンビニなどで多くの中国人が働いている。  
一年目は実習生として、二年目以降は研修生として三年ほどを働く。目的意識がハッキリしており、二〇〇万から三〇〇万円貯めることを目標に日本にやってくる。中には、五、六年日本にいて経営と技術を学び中国に戻り会社を興す者もいる。  
通勤の手段はもちろん自転車。一時間の通勤は当たり前で、前の研修生が置いていった自転車をタダ同然で譲り受け、修理は全て自分で行う。  
日本では夏に海水浴という休日の過ごし方は最近少なくなってきた。が、中国人は一日がかりで三国や鷹巣海岸へ出かける。  
中国人男性は寮付きで月一〇万円、女性では七万ほどという。彼らを企業に斡旋する業者もいる。日本商運には三〇人ほどの中国人が働いていると聞く。鯖江の眼鏡業界でも価格競争に生き残るため労働賃金をギリギリまで抑える。そのため安い外国人労働力を雇用する。  
保険は組合でかけるので会社の負担がいらぬ。連絡のためには携帯電話が必要のため会社が持たせている。  
製造の現場では、中国人なしでは競争に勝てない。